

第3回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和元年9月26日(木) 13時00分～16時30分
- 2 場 所 入間市役所 5階 第2委員会室
- 3 出席者 委員長 副市長 友山宏一
委 員 鳥山政之、田雑弘章、田代高久、福島和弘、小林由利、澤田茂
所管課 高齢者支援課長 宇津木教芳、主幹 富田浩一、副主幹 栗木友和
事務局 企画部次長 浅見嘉之、企画課長 栗原康友、主幹 亀田一生、副主幹
齋藤謙次郎
- 4 欠席者 なし
- 5 対象施設 入間市老人福祉センター
- 6 議 事

議 題

(1) 応募者によるプレゼンテーション

プレゼンに先立ち事務局から、次の説明を行った。

応募法人の資格要件のうち暴力団関係者の有無について、事務局において県警に照会したところ、応募のあった法人について、「該当は無い」との回答を得ている。

プレゼンについて、1法人あたり50分とする。時間配分は、プレゼン25分、質疑応答25分とする。仮にプレゼンが20分で終了した場合には、質疑応答を5分増やし、30分とする。質疑応答が早く終了した場合、50分に達していなくてもその時点で終了とする。

採点等については、5～1点の5段階で採点を行い、審査票は、10月8日までに企画課へ提出願いたい。

① 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

応募書類を基に入間市老人福祉センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委 員 : 指定管理を受けてからの4年半の実績について、きめ細かいところまで見ていただいていることを実感した。また、老人クラブ連合会との関わりについて熱心にご対応いただいていることがわかった。利用者満足度調査を行っているのであれば、その内容について教えていただきたい。

応募者 : 利用者アンケートを実施しており、施設管理について高く評価していただいている。また、利用者への接遇や日頃の事業に対しても高い満足度が得られている。

アンケートの結果については年1～2回高齢者支援課に報告している。

委員：自己評価ではいかがか。

応募者：利用者による月1清掃デーを実施しており、最初は人が集まるか心配していたが徐々に参加者が増えており、「目的を持って身体を動かすのはいいよね。」と言って毎回参加してくれる方もいる。また、芸能発表会を開催しているが、「高齢者自身による踊りや歌などを発表できるやまゆり荘」というのが、高齢者に浸透してきている。さらには、浴室前のギャラリーに、以前は市の備品である絵画を展示していたが、利用者の方が見つけてきた名人による水墨画や切り絵等を掲げてもらえるようにしたことなど、「利用者にとって過ごしやすいくところだね、楽しいよね。」という声が多くなっていることを実感している。

委員：これまでの4年半の指定管理期間で、浴室での事故の事例はあるか。また、市のバスが廃止になったことで、老人クラブ連合会の県外研修や事業の実施は今回提示いただいた予算の範囲内で実施することができるのか。

応募者：浴室の事故については、過去に2回ほど、のぼせて気分が悪くなり救急車を要請したことがあったが、特に問題はなかった。こういった事故を防ぐことから、風呂の温度管理について、気候にあわせるなど気をつけている。また、当初は設置していなかったが、脱衣場にバスタオルや三角布、水分補給用の紙コップなどを入れた緊急BOXを用意し、緊急対応に遅れがないよう対応している。また、のぼせた時の対応等について職員研修を実施している。なお、事故が発生した場合には、高齢者支援課と情報共有を図り対応している。

バスについては、老人クラブ連合会の総会や女性部の研修等、年何回かのイベントで使用しているが、予算化し、予算の範囲内で対応できるよう事業の提案をした。

委員：やまゆり荘以外にも全国で数多くの指定管理実績がある。老人クラブ連合会の事務局を実施している以外の点で、他の老人福祉センターと比較してやまゆり荘の特徴として良い点、悪い点についてどう考えるか。また、良い点についてはどう伸ばすか、悪い点についてはどう解消していくかを教えてほしい。

応募者：良い点は、利用者の人柄が柔らかい、おとなしい人が多いという点であり、そのことで助けられていることが多く、利用者に支えてもらっていると感じることが多い。

悪い点としては、築25年の施設であることから、施設の痛みが激しい。特に空調や水回りに課題が多く、年に数回浴室を止めなければならない。このことについては利用者や高齢者支援課に説明し、業者の協力を得て対応している。そうい

った場面で、利用者が理解していただけることも助かっている点である。また、植栽が立派なため、指定管理者だけでは管理しきれず、台風の時などは市等の協力を得ながら解決している。

委員：事業実績について、指定管理の更新をしている施設はどのくらいあるのか確認したい。

応募者：事業実績として提示させていただいた施設のうち、終了となっていない施設については、2期、3期と更新をしており、多くの自治体において、我々の運営を評価いただいているものと自負している。

委員：提案資料には残業を少なくするとあるが、現在残業をどれくらい行っているかを教えてほしい。

応募者：現在12名の職員がいる中で残業を行っているのは所長のみである。月平均20時間程度である。特定の個人の負担にならないよう業務の分散を図りたい。

委員：広報や周知について、ホームページやSNSの活用を提案されているが、そもそも施設のことを知らなければホームページを見ることにつながらない。広報誌である「やまゆりだより」は現在公共施設で配布しているとのことだが、民間施設の待合室等高齢者が手に取りやすい場所での配布をする考えはあるか。

応募者：職員間の会議でも配布場所については意見が出ており、できる場所からやろうという考えである。また、市内の老人クラブに対して、施設の案内があまりできていなかったと感じており、老人クラブの方たちの施設への理解・啓発を大事にしていきたい。

委員：高齢者の雇用に配慮していることが見受けられるが、それにしても随分と高齢の方がバスの運転手をしている。安全対策の考え方について教えてほしい。

応募者：バスの運転手は現在3名おり、最も年齢が高いのが75歳であり、今後のことも考え、60代の運転手を新たに採用した。リスク管理と若返り化を図っている。また出発前の点検はもちろんのこと、運転手の健康面の確認も行いながらシフトを組んでいる。

加えて、我々の組織では定年制は設けてはいないが、65歳以上の方は毎年更新としており、健康状態や意欲を確認したうえで継続雇用をしている。本人たちにとっても長く生きがいとして勤務ができる場所を目指している。

委員：質問ではないが、育児・介護休業規程が直近の法改正の内容が反映されていないので、修正いただきたい。また、賃金規程において、責任者手当と職責手当という同じような内容のものが別々のところに記載されているが、こちらも修正が必要と考える。

委員：年休取得の状況や取得の考え方を教えてほしい。

応募者：現状では、所長が取得しておらず、組織からも指摘を受けている。それ以外の職員については、年休を取得している。組織としても今まであまり年休取得できていない職員に対し、2か月に1回は年休を取得するよう促している。給与計算の確認の際にも取得状況についてあわせて確認をしている。

委員：提案いただいた配置人員構成を見ると、高齢の方が非常に多いように見受けられる。この体制で利用者20%増という高い目標が設定されているが、どうやって利用者増加を図るのか教えていただきたい。

応募者：理想を追求したいという思いがある。老人福祉センターが、高齢者がただ過ごす場所だけではなく、人生100年時代において、長く働ける場所でありたいと考えている。また、提案では空白にしてあるが、新たにリーダー候補となる40～50代くらいの人材を採用したいと考えている。この次期リーダー候補が、今まで経験をしてきた人と手を組んで地域・施設の活性化を図っていきたい。

また、他の老人福祉センターや関係機関との連携は法人内でも強く、実践研修等を通じて若い考え方を取り入れていける強みがある。仲間同士は施設内だけにとどまっていはいない。若さは外にも抱えているという考えである。なお、地域のエリアマネージャーは若い社員であり、地域のリーダーとして、地域を築いていく現場の職員に寄り添い一緒に行くことで、高齢の仲間たちも自信を持っていけると考える。

委員：これまでの4年半の実績を踏まえ、これからの5年間について、意気込み等があればお聞かせいただきたい。

応募者：老人福祉センターはどこに行っても、仕事をリタイアされ居場所を探しているような方が集う場所が多いと様々な施設を管理していて感じている。老人クラブ連合会の事務局を運営するなかで、やまゆり荘から教えてもらったこととして、やまゆり荘に来る方たち以外にも、地域の中で活躍する老人クラブのような先輩たちがいることを学んだ。今回提案もしているが、次の5年間で、地域の中でやる気のある方と通じて、当事者とともに地域を変えていく高齢者を育てていく場所に老人福祉センターをしていくことを目指している。施設をただ過ごす場所ではなく、自分たちが活躍して元気になれる場所であることを発信していく場所にしていきたい。

事務局：以上で質疑応答を終了とさせていただきます。

② 株式会社サンワックス

応募書類を基に入間市老人福祉センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：施設の総合管理について非常に得意であるのではないかと感じている。提案書も読ませていただき、特に営繕チームの取り組みについては非常にいい取り組みであると評価する。施設も老朽化していることから非常に期待ができる。総合管理ということでは実績がかなりあるようだが、老人福祉施設の指定管理はサンパーク奥富以外にあるのか。地域との連携の方策で考えている点を教えてほしい。

応募者：現在、老人福祉施設の指定管理の実績はない。サンパーク奥富は構成企業であったが、運営のほとんどを当社が行っていた。しかし、今年度仕様が変更となったことで、コストが合わず控えさせていただいたが、これまで3期にわたって運営を行ってきた。指定管理ではないが、特別養護老人ホームの夜間管理について、介護職の配置や相談を受ける必要があり、委託としてだが運営をしている。それ以外にも老人施設について委託を受けている。

地域連携については、やまゆり長寿フェスティバルにおいて、シルバー人材センターや社会福祉協議会との連携を強化し、地域の小中学校や幼稚園なども巻き込みながら、多世代の交流ができるいい機会としたい。日頃から安全管理の面でもパトロール等を通じ連携を図りたい。広報活動についても、他施設との連携も図りたいと考えており、博物館との連携や、ケーブルテレビやFMなどのマスコミ等とも連携を進めていきたいと考えている。

委員：似たような施設管理をしている職員の平均的な残業時間を教えてほしい。

応募者：サンパーク奥富では残業はあまりなかった。たまに利用者がお風呂から出るのが遅くなって30分程度残業をすることがあったが、恒常的ではなかった。

委員：提案にあるカラオケについて、今まで無料で利用できたものが、有料になるというのは抵抗があるのではないかと思う。サンパーク奥富でも同様の取り扱いをしていたのか。

応募者：サンパーク奥富では市直営のころから有料であった。また、舞台の利用も含めてカラオケができるということであった。指定管理になった際に今回提案させていただいた「DK エルダーシステム」を導入し、カラオケの時間を決めてそれ以外の時間に踊りや健康増進プログラムを実施した。

委員：提案にある「シニアのネイルアート」について、金額や内容等どのように考えているのか教えていただきたい。

応募者：色をつけ1箇所だけ何かつけるようにして、千円くらいで考えている。

委員：一般的には1万円程度かかるので、いいと思う。

委員：質問ではなくお願いになるのだが、就業規則が一部抜粋されて提出されており、わからない部分もあるが、育児・介護休業規程について、法の改正が反映されていないようなので、修正をお願いしたい。

委員：現在老人福祉センターは利用者が減少している中で、利用者5万人を目標としているが、利用者を増加させる「これは！」という決め手は何があるか。また、老人クラブ連合会の事務局を運営していく上で、老人クラブの会員を増やす取り組みについても教えていただきたい。

応募者：指定管理を行っている埼玉平和資料館において、利用者をV字回復させた実績がある。挨拶の徹底など、受付職員のマインドが一番大切であると考えている。また、魅力的な自主事業を実施することで口コミが広がっていく。広報についても、老人福祉センターは周辺市の市民も利用できるということから、施設を知られていない方に広報活動をしっかりやっていくことで、利用したことがない人たちを新たに呼び込みたいと考えている。常連層も多く、行きにくいと感じている人もいであろう。施設の平等利用を図るためにも、我々の思いや施設のあり方、ルールを示していくことで、誰もが気持ちよく利用できる施設にしていきたい。すぐに利用者が大きく増えるとは考えていないが、徐々に増やしていきたいと考えている。また、施設の中の改修や新しいことを導入することで、真新しさを出し、また行ってみたいと思える施設にしっかり運営していきたいと考える。全てやっつかねばならないと考えるが特に決め手というならば、窓口業務は非常に大事であると考えている。親切丁寧に分かりやすく、距離感もって対応する必要があると考える。

老人クラブの会員を増やす取り組みとしては、まずは活動自体を知っていただくことをしたい。情報コーナーを活用し、現在取り組んでいる活動を紹介していきたい。学芸員の資格をもった職員により上手に紹介をしていきたいと考えている。広報が一番大切と考えるため、自治会の回覧板等も活用していきたい。

委員：老人クラブ連合会の事務局としての事務は多種多様であり事務処理も多い。それにあたる職員の体制についてお聞きしたい。また、素晴らしい色々な企画が提案されているが、春・秋の遠足の企画について、バスは出していただけなのか、何人くらいを想定しているのか。

応募者：事務については仕様書だけでは実際の業務が見えない部分が多いため、事務能力の高い職員を配置させていただく予定である。遠足については、初めてであるため実際どのくらい人数が集まるかが見えないが、マイクロバスの利用だけではな

く市内の観光バス業者にも依頼して事業展開が図れば良いと考えている。

委員：提出いただいた配置職員経歴において、責任者、副責任者の欄を見ると二人とも「日本の里風布館」に現在勤めており、新たに採用する場合は市民優先となっている。この部分はどう理解したらよいか。

応募者：「日本の里風布館」は今年度で指定管理期間が終了し、更新する予定がないことから、配置職員として予定させていただいた。また、現在の指定管理者の従業員の雇用等も含めたうえで、実際の運用について、最終的に判断していきたいと考える。

委員：現地説明会等で現地を見ていただいたと思うが、改善した方がよいと思われる点をお聞きしたい。また、次期5年間の指定管理者となった場合の、今後の意気込みについてお聞きしたい。

応募者：改善点について、機器の老朽化が進んでいると思う。機械の入れ替えも必要であるが、同時に雰囲気を変えることも重要であると考えている。例えばクロスやカーペットの入れ替えや什器の入れ替え等を考えている。トイレや風呂の清掃をしっかりと、見栄えをよくすることが大事であり、一言で言えば清潔感を高めることであると考えている。また、仕様書にはなかったのが提案書には入れなかったが、施設内の売店において美味しい食べ物の販売ができればいいのではと考えている。施設の魅力の一つとして、売店を運営する大樹さんとも連携していきたい。意気込みとしては、多種多様な施設運営をしていく中で、屋外施設も運営のヒントになっている。やまゆり荘にも屋外の施設があることから、色々な事業を実施することで、施設の集客や利用者の楽しみにつなげるとともに、新たなコミュニティを作り、楽しく集える施設にしたいと考える。また、脳トレ等介護予防事業を実施することで利用者の健康予防にもつなげていきたい。

事務局：以上で質疑応答を終了とさせていただく。

③ シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

応募書類を基に入間市老人福祉センターに関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：市の施策の動きをよく捉えた提案であると感じる。やまゆり荘の強みや弱みについて、多くの施設を指定管理している業者としてどう分析し今後指定管理者となった場合、どう対応していくか、どう伸ばしていくかをお教えいただきたい。

応募者：強みとしては、現指定管理者が実施している部分ではあるが、「やまゆりだより」

の取り組みがよくできていると感じる。弱みとすれば、当社は前回5年前の指定管理の選定の際にも応募したが、ハード面で何も変わっていないという印象である。ソフト面では、利用者アンケートによれば「人もよい、サービスもよい」という意見がある一方で「接遇面で対応が悪い」といった意見もあるという感想である。

委員：人事面の質問として、まず社員体系について、就業規則には一般契約営業社員と社員とがあり、社員はパート、一般契約営業社員はフルタイムとなっており、両者とも1年間の雇用期間である。今後やまゆり荘に勤務する職員はみな1年更新ということによいか。さきほどの提案においては長期雇用との説明であったが本当にそうなのか心配に感じる。また、同様の施設を管理していると思うが、残業はどのくらいあるのか。さらに、就業規則に育児・介護休業規程がついていなかったが、制度はあるのか。次に人事以外の面の質問だが、新たなカラオケ機器を導入するとあるが、これは無料で利用できるのか。

応募者：基本的に正社員で採用することではなく、まずは1年契約の一般契約社員で採用する。人物評価により素行不良でなく、体調不良でなければ更新をしており、平均7年以上は勤務している。評価次第で正社員への登用制度もある。残業については、老人福祉センターの業務での残業はない。放課後児童クラブにおいては保護者の送迎時間により残業が発生しているが、30時間以下と規定している。育児・介護休業規程について制度は整備している。次にカラオケについては無料で提供する。JASRACへの著作権使用料等が複雑なこと、福祉施設であるため、料金をとることはどうなのかとの考えから無料としている。

委員：白岡市の老人福祉センターの指定管理を受けているとのことだが、その点から、入間市の老人福祉センターのここを変えればいいと感じる点はどこか。

応募者：新たな所長候補者は大型自動車免許を取得しており、自ら運転して、越生梅林等へ老人クラブの研修旅行等のイベント等も検討している。また、やまゆり荘では週1回の浴槽水の入替えとのことであるが、白岡市では安心安全のため毎日入れ替えている。委託に出していた浴槽掃除も自ら実施するなど内制化を図っている。利用者の立場になることが、指定管理をする上で一番大事であると考えている。ひとつひとつ現場に入り、利用者の声を聞いて変えられるものは変えていきたいと考える。また、ボディソープの導入や畳の上に椅子とテーブルを設置するなど白岡市で実施していて良かったと思えるものを提案させていただいている。

委員：老人クラブ連合会の事務事業や管理について触れられていない。老人クラブ連合会の事務は多様であり、執行体制についてどう考えているか。

応募者：所長と、老連専門の事務員を配置したいと考えている。ただし、現状老連事務の知識も経験もないことから、早めの引継ぎの機会を設けて勉強させていただきたくとともに、営業所あげてバックアップしていきたいと考える。

委員：常勤職員の年齢構成はどう考えるか。

応募者：配置予定の職員は、現在やまゆり荘で勤務している方を最優先に考えている。その次に考えているのは、30代から40代の女性を配置したい。60代70代が悪いということではなく、ある部分で慣れ合いが生じてしまうのではと考えるからである。サービスを提供していく上でアンサーサービスになってはならない。そのためにも、人と接する能力について面接で見極め配置していきたい。20代が来ても対応できる時給を設定している。

委員：白岡市の指定管理期間はいつまでか。白岡の所長がやまゆり荘の所長になることは問題ないのか。

応募者：指定管理期間は残り2年ある。入間市で指定管理を受けさせてもらえるのであれば、白岡市の老人福祉センターの所長は別の者に引継ぎさせる予定である。ぜひとも入間市の老人福祉センターの指定管理を受けたいという気持ちで考えた配置である。

委員：白岡市の指定管理を受託してからの利用者数の増減の状況と、入間市のやまゆり荘ではどのくらいの利用者増を目標としているかを教えてほしい。

応募者：白岡市の利用者状況だが、当初2年間は減った。毎日来所されていた方が来られなくなったことが続いた。しかし、今年度になり、前年比100%以上が毎月のように続いている。要因としては、人から人へ口コミが広がったこと、利用者の声をひとつひとつ聞き、できることから実行していったことが考えられる。椅子を畳の上に設置したのも利用者の声から実行したものであり、それが積み重なり今の結果になったものとする。また、白岡市では老人クラブとは呼ばないが、クラブの代表者会議の際、センターの空き部屋についての情報を提供し、新たなクラブの利用が増えたことなどから、利用者は増加している。それ以外にもカラオケのゲームであったり、イベントの数であったり2年目以降に周知されるようになり、それまで週1回の利用者が毎日利用するなどの逆転現象も起こっている。やまゆり荘の利用者目標は、平成26年度の4万8千人から9千人を目指していきたい。そのためにバスのルートを変更することも検討したい。また、バス停の位置がわかりにくいことから、ホームページ等でわかりやすく表示することで利用しやすくし、利用者増を図っていきたい。

(2) 高齢者支援課からの意見感想

委員長：所管課として意見、感想があればお願いしたい。

所管課：施設所管課でないといけないことがあるため報告する。前回、平成27年度からの指定管理の指定にあたり、今回と同様に選定委員会において4社によるプレゼンテーションを実施し、現在の指定管理者が他社よりも圧倒的に安い金額を提示したことが、選定の大きな要因となった。しかし、プレゼンテーションにおいて自主事業として10の事業提案があったが、実際には3つの事業は実施されているが、それ以外の事業については、実施できないとの状況が続いている。提案された事業が実際に実施できるものかどうかも含め候補者の選定をお願いしたい。

また、入間市に限らず全国的な傾向ではあるが、老人福祉センターの利用者数が年々減少しているなかでも、年々利用者が増加させることができる法人を選出いただきたい。

委員：予算の範囲内であればどこを選定してもよいのか。市としては一番安い事業者がよいのか。

事務局：指定管理者制度は経費の削減だけでなく、民間事業者等のノウハウを活用し、住民サービスの向上や図るものであり、委員による審査結果によるものである。過去にも他施設において、一番安い提案ではない法人が選定されたこともある。

委員：高齢者支援課からの意見として、「提案されても実施できないこともあった。」とのことを聞くと、採点が難しい。

委員：各委員が適正に採点し、委員会の総意として候補者を決定するものである。安かろう悪かろうでは困るし、だからといって高いからいいことができるというわけではない。提案資料や本日のプレゼンテーションから判断し、採点していくのがいいと考える。

委員：3社の指定管理料の比較がわかるような資料をいただきたい。

事務局：作成し、後日配付する。

7 その他

審査票の提出と次回の日程について

10月8日までに審査票を企画課に提出していただきたい。次回は10月16日(水)に開催予定である。

以上